

自転車を 楽しんでいる人 × 市議会

今回はいろいろな形で自転車を楽しんでいる人たちにお集まりいただき、自転車の魅力やおすすめスポットなどについてお話を伺いました。

おすすめスポットや難易度などがわかる サイクリングマップがあったらうれしいです

〈自転車始めたきっかけや楽しみ方は？〉

■カメラが趣味で、車に自転車を積んで出かけ、山道やその先など車や徒歩でなかなか行けないところに行って、写真を撮ったりして楽しんでいます ■通勤で乗り始めたのがきっかけですが、子どもたちが生き物が好きなので、自転車で探しに行ったりして楽しんでいます ■トレイルランニングが趣味で、トレーニングの一環として乗り始めました。

基本一人で楽しんでいます ■趣味で石仏などを調べていて、神社仏閣を自転車で巡っています ■以前はマウンテンバイクの競技にも出ていました。今は、菅生の尾根道を走ったり、森を整備するボランティア活動をしています ■15年前に自転車で登るチベットのアーに参加したのがきっかけです。子どもがキックバイクに乗るので、一緒に走って楽しめるのは良かったと思います

〈自転車の魅力は？〉

■マイペースで自分の好きなところを自由に走れること。おもちゃというか、持っていて乗っても楽しい ■運動が苦手な私でも、ちよつと頑張れば楽しみながら走れる。四季の風を感じられる ■車では通れないような細い道、裏道、昔の道を楽しめます ■山中を走る楽しみ方があって、鳥の声や落ち葉のサクサクという音など、走ったり歩いたりするのは違う感じの空気感があります

〈おすすめスポットは？〉

■秋川の自然に触れられる、山田大橋、網代橋から奥の方の秋川沿いが非常に魅力的です ■戸吹の方から入って網代の方に抜ける根小屋尾根道と、高尾の方から入って沢戸の方に出る桜尾根道です。昔の面影が残っていて、石仏や石塔が楽しめます ■深沢地区の千本杉と大榎とかは結構見どころがあるんじゃないかな。あじさい山も魅力

〈市や議会に期待することは？〉

■台風でサイクリングロードが崩れているところがあるので、直ればいいですね。所々に公衆トイレがもう少しあるといいかな。あと林道をもっと少し自転車で開放してもらえるとありがたいです ■おすすめスポットや難易度などがわかるサイクリングマップがあったらうれしいです ■近隣自治体と共同で自転車を広めるアピールをしたらうと、地域全体が盛り上がると思います ■あきる野市の魅力をもっと生かせるような、市とボランティア団体、自治会との協働事業があったりすると、すごく変わっていくのではないかな ■議員は選挙のポスターのイメージだけでなく、何か関わることができたら、もう少しいいイメージになるのかな



参加者の自由で活発な発言を促す観点から、氏名等の掲載は控えています。

● 3月定例会議 議案審議 ●

あきる野市の

こんなことが決まりました。

3月定例会議 会議期間37日間 2月17日～3月25日

3月定例会議の議案は

- 諮問……………1件
- 市長提出議案…33件
- 陳情……………7件
- 議員提出議案…1件

今号では
この中から
7つを
Pick up

全ての議案等の内容と結果は、あきる野市ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

〈議案第5号〉 あきる野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

Pickup 1 国民健康保険税率の引上げ及び未就学児に係る被保険者均等割額を5割減額します。

医療費の増加などにより財源に不足が見込まれることから、国民健康保険税の引上げを行います。また、これまで減免の対象になっていなかった第一子目について、未就学児の均等割を5割減免します。

こんな質問・意見が出ました。

AQ 他市の税率改定の状況は、令和4年度に改定を予定しているのは26市中17市で、全て増額改定の予定と聞いている。

● 国保財政の健全化と持続可能で安定的な運営のために致し方ない状況かと思う。市民へ丁寧に説明してほしい。

● 国による子育て世帯への軽減措置だけでなく、市独自の多子世帯への配慮などを検討して欲しかった。また、コロナ禍で市民の生活に大きな負担をかけることになる今回の引上げには賛成しかねる。



〈議案第9号〉 武蔵引田駅北口地区整地・道路・排水工事(債務負担行急の請負契約の変更)について

Pickup 3 武蔵引田駅北口地区整地・道路・排水工事の請負契約を変更します。

工事内容を改める必要が生じたため8億7560万円の契約額に、1億4813万円を増額します。

こんな質問が出ました。(初日)

Q 水道管引込工事は水道局に委託するつもりだったが、市で行う必要が出てきたため約4900万円計上したとのこと。しかし、水道局との協議は何回かあったはずで、当初の発注前に気づいていて仕か

A 包括的業務を委託している業者の考え方がきちんと確認できていなかった。当初で見切れた可能性は十分にあった。

Q 水道管引込工事について新規契約と説明したが、実際は一部が当初契約に入っており、追加の契約だった。

A 初日の議案審議における市の説明に誤りがあったことがわかり、最終日に訂正と謝罪がありました。

こんな質問が出ました。(最終日)

Q 業者への指示書には「追加」とはつきり書いてあり、間違えようがないはず。図面にミスも多く、二重契約になっていないか等の疑惑が出てしまう。実際の工事箇所数と支払額に間違いはないか。

A 担当の全職員で確認したところ、契約書通り275箇所を施工する予定で間違いはない。

Q 契約変更の書類を見ると、地権者の要望に応じて発生土を市外の民地に4トントラックで73台も運搬している。東京都建設リサイクルガイドラインに違反し、公平性の観点からも問題があるのでは。本来従うべきガイドラインに即した手続が履行できていない。この失態に関しては、東京都の指導下で速やかに対処していく。

〈議案第8号〉 あきる野市学童クラブ条例の一部を改正する条例

Pickup 2 西秋留小学校に隣接する場所に若葉第2学童クラブを新設します。

若葉学童クラブでは継続的に待機児童が生じているため、40人規模の若葉第2学童クラブを新設し、4月1日から運用を開始します。

こんな質問が出ました。

Q 第1と第2はどのような形で分けるのか。

A 既存の若葉学童クラブは1、2年生、新設する若葉第2学童クラブは3年生から6年生までを受け入れる予定。

Q 若葉第2学童クラブの新設によって子どもたちの外遊びの場が減ってしまうことはないか。

A 若葉学童クラブは西秋留小学校に隣接しており、学校の校庭を利用してもらえるので、外遊びについての心配はないと考えている。



Pickup 4

離婚等によって新たに臨時特別給付金の対象となる世帯に10万円を給付します。

令和3年9月が基準日である子育て世帯への臨時特別給付金(先行給付金)に対し追加の支援給付金制度が設けられ、先行給付の対象外であった離婚家庭等が給付対象となります。

こんな質問が出ました。

Q 新たに支給対象になるのは具体的にはどのような世帯か。

A 離婚等により、令和4年3月分の児童手当の受給者になった方。令和4年2月28日時点で高校生等を養育している方。これらに準ずる方で具体的には、DVにより住所変更せずに避難している方で、児童手当の受給の変更の手続をしていない方。

Q なぜブッシュ型の給付にしないのか。また、申請漏れがないようにする工夫は。

A すでに給付金相当額を受け取っている又は使っている場合などはその額は除くことになっているため、申請をしてもらう必要がある。HP、メール配信、広報、ひとり親へは直接送付するなど関係課と連携し情報を伝えていく。



Pickup 5

介護従事者の処遇改善等に関する意見書を提出します。

コロナ禍において、エッセンシャルワーカーである介護従事者の役割がますます重要となっており、一方、介護現場では人材の確保に苦慮する状況が続いています。そこで、国に対し、地域の介護サービスが持続可能なものとなるよう、介護従事者の処遇改善等を求めるものです。全議員の賛成により、意見書を提出します。

議案提出会派・提出先

議案提出会派

自由民主党志清会

賛成会派

明るい未来を創る会

公明党

日本共産党あきる野市議団

くさしぎ

提出先

内閣総理大臣、厚生労働大臣



Pickup 6

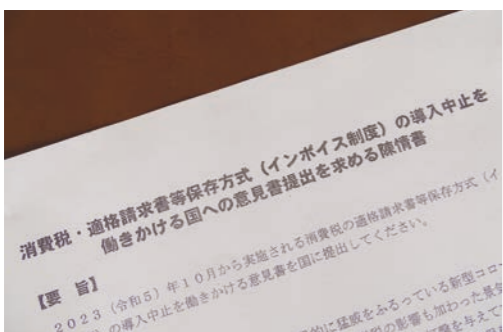
インボイス制度(消費税・適格請求書等保存方式)の導入中止を働きかける国への意見書は提出しません。

消費税・適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入中止を働きかける国への意見書提出を求める陳情書

インボイス制度が導入されると、中小企業者に事務負担の増加が強いられるとともに、消費税の免税業者が現在の取引から排除される恐れがあるため、インボイス制度の導入中止を働きかける意見書を国に提出するよう求めるものです。反対議員が多かったため、不採択となりました。

こんな意見が出ました。

- 導入中止には、国会で審議されてきた経緯や、ビジネス界の潮流や現実性も鑑み、同意しかねる部分もあるため、不採択とする。
- 導入に向けて負担軽減措置が設けられていることから、まずは同制度を進めていくべきと考えるので、不採択とする。
- 実際に中小企業の支援を行っているあきる野商工会のみならず、近隣の商工会も含め、導入に反対だと表明していることは非常に重大。陳情者の訴える不安はもつともであり、採択すべきものと考える。



Pickup 7

日米地位協定の改定を求める陳情は不採択となりました。

あきる野市民に大きな不利益をもたらし、その安全をも脅かしている「日米地位協定」の改定を求める意見書を、日本政府及び関係機関に提出してほしいという陳情です。反対議員が多かったため、不採択となりました。

こんな意見が出ました。

- 日米地位協定は、我が国が一貫して運用改善を進めてきている。本陳情が求める地位協定の改定は、日米同盟の深化の観点から、受け入れられない。不採択とする。
- 我が党が示した日米地位協定改善提案5項目を軸に政府内で検討し、米国側に政府間協議を申入れ解決すべきと考え不採択とする。社会情勢が随分変わってきている。ここで見直し、改定をして、少しでも前進させたほうがよいため賛成する。
- 日本とアメリカの間で結んでいる地位協定は、他国と比べ、明らかに日本の立場が低く置かれており、他国並みに改善することに何の問題があるのか。採択とする。



**子どもの学習・生活支援事業経費
1076万円**

Q 今年度、集合型のスタイルを学習塾タイプから居場所へと大きく変えたが、その評価と新年度の方針は。



A 会場の雰囲気もよく、居場所の機能も果たしている。今年度の方法を踏襲しながら参加者一人一人の課題が解決でき、居場所として楽しく通える場所にしていく。

Q 訪問型が新たに始まったが、現場スタッフ等との情報交換はできているのか。また来年度の見通しは。

A 保護者の同意を得た上で情報交換を行い、必要に応じスクールソーシャルワーカー等にも参加いただいている。4年度も積極的に情報交換を行い、より良い支援につなげる。

**日常生活用具給付費(地域生活支援事業経費)
3067万円**

Q 脳性麻痺等脳原性運動機能障害に対する紙おむつの支給の運用が見直しになり、対象者が拡大するが詳細は。



A 現在は、身体障害者手帳において脳性麻痺などの表記により脳原性による障害であることが確認できなければ支給の対象としていないが、今後は、乳幼児期までに発症した脳疾患、無酸素脳症の後遺症によるもの、脊髄の麻痺等によるものも支給対象に加わる。

**管渠整備事業費(下水道事業)
5億9584万円**

Q 国が示している平均的な下水道管工事費は1メートル当たり9万円だが、来年度工事が予定されている山田地区、五日市地区、引田地区の1メートル当たりの工事費は。



A 山田地区が約33万円、五日市地区が約82万円、引田地区が約16万円。

Q 五日市地区の下水道工事費として約1億7000万円が計上されている。この工事で下水道が利用できるようになる世帯は何軒か。

A 接続可能軒数は11箇所を予定している。

**利子補給金(商工振興経費)
3708万円**

Q 新たな給付金など市独自の支援策を考えてもらいたいと思うが、いかがか。



A 融資制度の拡充も予定している。金銭面での新たな支援策は、ニーズの把握や財源確保から、社会情勢や各種状況を踏まえて検討する。

Q 融資制度拡充について、詳しく教えてほしい。

A 融資限度額を倍の7億2000万円に対応できるよう予算を見込んでいる。影響する予算は、利子補給金を令和3年度の当初予算から101万3000円増額し207万4000円に、また、保証料助成金を39万円増額し66万5000円の予算を見込んでいる。

令和4年度予算案をチェック
税金の使い道について質問しました。

市長から令和4年度の予算案が提案されたので、3月15日・16日の2日間、予算特別委員会を開催し、皆さんから納めていただく税金の使い道を審査しました。その結果、本会議において全ての予算案が提案どおり可決され、令和4年度の税金の使い道が決まりました。予算特別委員会での主な質疑の内容を紹介します。

令和4年度会計別予算

一般会計	319億2585万円
特別会計	193億2332万円
国民健康保険	85億7217万円
後期高齢者医療	23億3075万円
介護保険	71億7325万円
戸倉財産区	330万円
テレビ共同受信事業	4069万円
秋多都市計画事業武蔵引田駅北口土地区画整理事業	12億313万円
公営企業会計	46億1419万円
下水道事業	46億1419万円
合計	558億6336万円

※下水道事業の予算の規模は、支出予算の総額として表記しています。

※金額は、表示単位未満を切り捨てており、端数処理の関係で、合計数値が合わないことがあります。

**コミュニティ事業交付金(協働のまちづくり
推進事業経費) 500万円**

Q コミュニティ事業交付金を使い易くするための採択要件等の見直し及び新任の町内会・自治会の会長への説明会の時期は。



A 連合会の総会を経て、新任会長の説明会後に、連合会と見直しに関して検討を行う。

Q 採択要件の見直しには、町内会・自治会の法人化に要する経費も含める必要があると思うが、いかがか。

A 町内会・自治会が幅広い地域活動を行うためにも見直しを考えている。また、全般的な採択要件の見直し時期は、令和4年度中を目途に考えている。

**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
1586万円**

Q 主な充当先事業は。



A 当初予算では、Bi@Staの特別相談窓口に係る感染症緊急経営支援事業経費、自宅療養者への食料支援等を含む感染症予防対策経費、介護サービス事業所等感染症予防対策経費など、既に行っている11事業へ充当している。

Q 国からの上限額はいくらか。

A 新たに示された限度額は2億9361万2000円。全額を令和4年度に繰り越して使用できるよう手続きしている。今後、補正予算等で対応を検討していく。

日本共産党 あきる野市議団

賛成

市民の経済状況は予断を許さず、税収については注視が必要。医療的ケア児保育所受け入れの補助制度新設、子どもの学習・生活支援事業の訪問型対象家庭数の拡大などを高く評価。新型コロナウイルス対策では、検査体制の拡充が急務。学校や社会福祉施設で、今後も求めに応じPCR・抗原検査を。公共交通空白地域の解消に向け、補助交通の本格導入の検討を。補聴器購入費補助制度実現や高齢者緊急通報システムの対象拡大に向け、研究と実態調査を。介護従事者の確保に向け、返済不要の奨学金制度や家賃補助など、市独自の施策検討を。豪雨災害に備え、秋川のしゅんせつを急ぎ進めるよう、東京都に強く要請を。非核平和都市宣言とともに平和に関する行動を期待する。



たばた議員

公明党

賛成

主な事業の評価として、障がい児の紙おむつ給付対象者拡大、特定不妊治療費の拡充、Bi@Staの中小企業者向けの特別相談窓口の継続、自閉症・情緒障害特別支援学級の開設に向けた教室の改修、通学路の安全対策の整備、五日市図書館内照明のLED化、武蔵引田駅の駐輪場等の整備等、会派の要望も盛り込まれており評価する。今後も自治体DX、カーボンニュートラル、防災・減災対策等、国や都の動向を踏まえて堅実な行財政運営を行っていただきたい。また、介護事業所との協議を進め、介護人材の確保策としての補助金が活用されるよう期待する。高校3年生世代までの医療費無料化は都と調整の上、早期実現と所得制限の撤廃を強く求め本予算に賛成する。

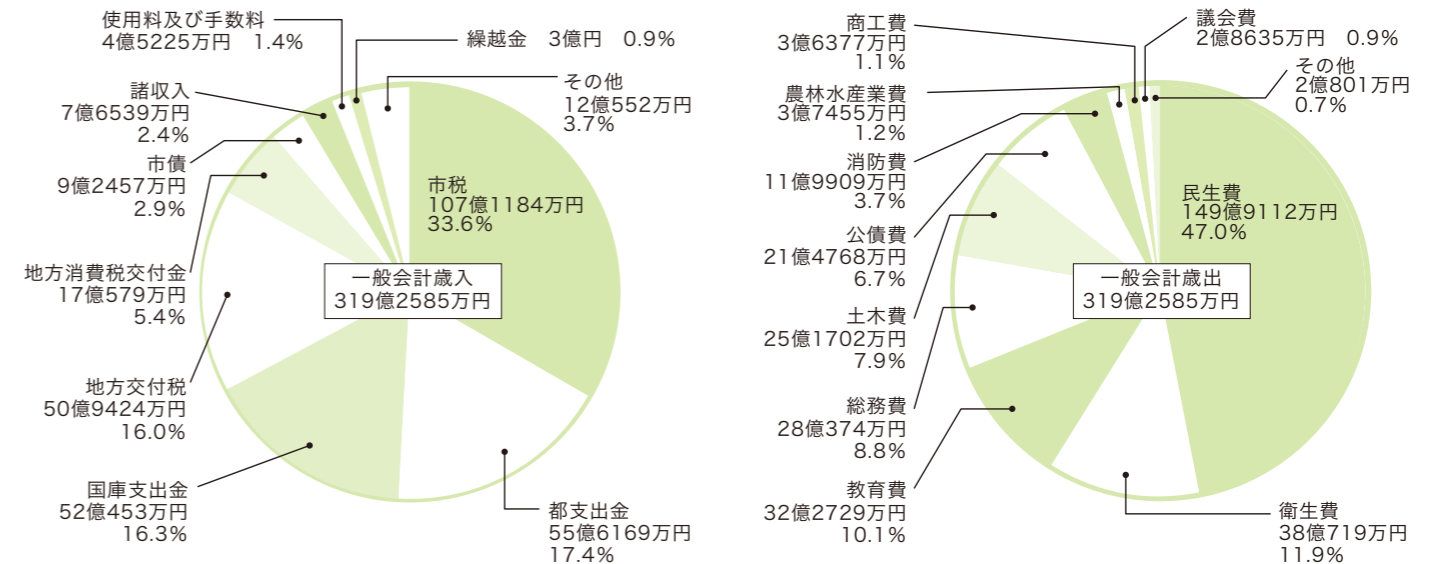


大久保議員

令和4年度予算案をチェック

このような理由で一般会計予算案に賛成・反対しました。

定例会議最終日に、予算特別委員会で審査した結果を増崎俊宏委員長が報告し、令和4年度一般会計予算案の内容について、5会派中4会派が賛成又は反対の討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。



※金額は、表示単位未満を切り捨てしており、端数処理の関係で、合計数値が合わないことがあります。



増崎委員長



自由民主党 志清会

賛成

村木市政で何度も見られてきた唐突な予算計上があった場合には、躊躇なく修正予算案を提出する構えだったが、今回は認められず、やや安堵した。新年度に入ってから注視を怠ってはならないと引き締めている。デマンド交通チョイスコの実証実験に大きな期待を寄せている。我々としてはこれで成果が出た暁には、このチョイスコを市内に広げていき、より高齢者等の足の確保を図っていくことが望ましいと考えている。新設を強く求めてきた若葉第2学童クラブの開設を高く評価しているほか、公民館へのWi-Fi設置、消防団の処遇改善などを協議する消防委員会の開催、コミュニティ事業交付金の採択要件の見直し、空き家対策予算などを評価し賛成する。

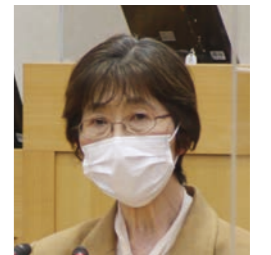


子籠議員

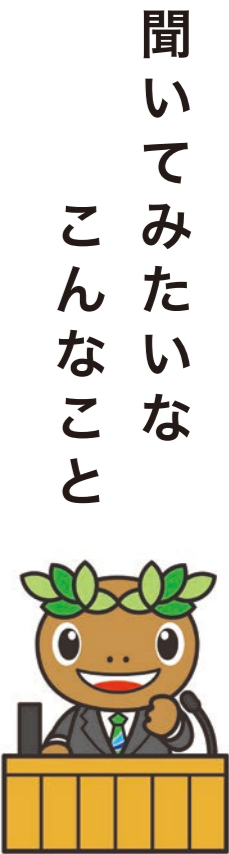
くさしぎ

反対

問題の多い土地区画整理事業と下水道事業に多額の予算が繰り出されている他、次のような疑問点がある。保育園・児童館の非正規職員の一部が3%報酬引上げの対象から外されている。本来、区画整理事業として行うべき駐輪場の整備工事等が一般会計扱いになっている。東部図書館内に12台もの防犯カメラを設置する一方、プライバシー保護の規制が十分とは言えない。教員補助員の研修等の取組に進展が見られない。商店街リノベーション支援事業の完了時期が見えないまま多くの経費がかけられている。喫緊の課題である介護人材の確保について、前年度全く利用のなかった補助金制度が同額で計上されている。市の意気込みを感じさせる取組が求められる。



辻議員



聞いてみたいなこと
こんなこと

一般質問

一般質問とは？
皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？

質問議員 19人 質問項目 46件

一般質問の全ての内容を動画で視聴できます。市ホームページの「市議会から」本会議録画中継」を検索するか、スマートフォンやタブレットで2次元コードを読み取りご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の 自宅療養者への支援について



子籠 敏人
(自民党志清会)



Q 本市では自宅療養者に対して食料品等の支援を行っており、その配布人数は感染拡大に伴い増えている。よりよい支援となることを願います。以下質問する。

A 提供された食料品については、普段食べ慣れていないものやアレルギーなどのために、どうしても残ってしまうケースもある。食品口スを出さない仕組みを構築してはどうか。

Q 現在は、アレルギー対応は行っていないことを受付時に伝えていますが、家庭によっては不要となるものが生じている現状は認識している。今後は、必要に応じて提供する食料品の内容を利用者を確認していただき、アレルギーの有無など、丁寧な聞き取りを行い、自宅療養者が必要とする食料支援となるよう努めていく。

Q 家庭の状況に応じた対応をしていくという理解で良いか。

A 今後は、アレルギーを持つ方がいるかを確認し、アレルギーがある場合には、品目を変更するなど、状況に応じた対応も行っていく。また、食料品以外に生活の困りごとがあるかも確認し、できる限り対応していく。

他に環境政策とそのシティセールス、子育て支援、施政方針について質問した。



武蔵引田駅北口土地区画整理 事業及び周辺地区について



堀江 武史
(自民党志清会)



Q 市長の交代に伴う事業の見直しにより、建物移転が令和4年度に集中し、財政的に厳しい状況にある。見直しに関する検討会議にて、約2億円の経費削減が図られた。その後の事業の進捗状況を踏まえた現時点の評価は。

A 工事の見直し等で約2億5千万円、契約差金で約1億9千万円の削減。移転補償費の精査等により約4億5千万円の増。国都交付金の減額による一般財源の負担増も踏まえ、財源確保と事業の執行管理に努めている。

Q 令和2年度に要望できなかった補助金は。

A 総額約3億4千万円の要望を予定していた。

Q 二度と事業の停滞を招くことのないようにすべきであると考えますが、見解は。

A 早期完了を目指して、着実に事業を推進する。

Q 保留地の売却が始まるが、今後の予定は。

A 公募による処分を実施する予定。

Q 駅南口地区及び都市計画道路秋3・4・13号線の整備構想は。

A 駅南口地区は農業との連携や道路事業を踏まえて検討し、都道は北側で用地確保と整備を進める。駅南側は、駅北口区画整理事業の整備効果を生かした検討を図る。



網代橋について



よしざわ たか
(自民党志清会)



Q 秋川の南岸にある網代地区の住民にとって網代橋は生活上必要不可欠であるが、令和元年10月の台風第19号の水害で受けた損傷により、昨年末から2度目の通行止めとなっている。

A 今回網代橋が通行止めに至った経緯と橋の現況は。昨年12月の仮設歩道橋の法定点検で損傷が進行して歩行者の安全が確保できないと判断。床版に新たな亀裂が確認され補修は不可能。

Q 市としての橋に対する今後の対応は。

A 橋の撤去に対する国都補助金を検討し、復旧の方向性について地域と話し合いを進めながら決定していく。

Q 網代地区の児童・生徒の通学路の現状と課題は。

A 弁天橋、夕日橋から山田大橋に続く都道を迂回して通



防災について



村野 栄一
(自民党志清会)



地震のニュースが報じられるたびに、東日本大震災をはじめ大きな災害を思い出し、防災に携わる市民の努力を感じる場所である。

Q 地域と連携した防災教育の重要性は高まっていると考え、今後の各学校への指導として児童・生徒への防災教育で地域との訓練のイメージを伺う。

A 地域の方を招いた避難訓練や学区の危険箇所と一緒に確認することなどが考えられる。

Q 避難所開設におけるペットとの同行避難の課題解決として、平時の避難訓練に

A ペット同行避難を導入することはいかがか。

Q ペット同行避難訓練を実施することにより、ペットの受け入れ方法や飼い主が備えておくべきことなど、課題の抽出機会となり同行避難の向上につながるため、避難訓練の項目に含めていきたいと考えている。

A ペット同行避難の場所として公共施設駐車場を積極的に活用すべきと考えるが、トイレの設置は可能か。

Q 車中避難の場所として公共施設駐車場を積極的に活用すべきと考えるが、トイレの設置は可能か。

A 公共施設を避難場所として開放する場合はその施設のトイレも開放するため、車両避難者がトイレを使用することは可能。既設トイレが使用できなくなった場合、仮設トイレや簡易トイレの設置も検討していきたい。

Q 他に環境について質問した。

A 他に環境について質問した。

Q ペット同行避難を導入することはいかがか。

A ペット同行避難訓練を実施することにより、ペットの受け入れ方法や飼い主が備えておくべきことなど、課題の抽出機会となり同行避難の向上につながるため、避難訓練の項目に含めていきたいと考えている。

Q 車中避難の場所として公共施設駐車場を積極的に活用すべきと考えるが、トイレの設置は可能か。

A 公共施設を避難場所として開放する場合はその施設のトイレも開放するため、車両避難者がトイレを使用することは可能。既設トイレが使用できなくなった場合、仮設トイレや簡易トイレの設置も検討していきたい。



自閉症・情緒障害特別支援学級の開設について



窪島 成一
(自民党志清会)



Q 市内の自閉症・情緒障害特別支援学級の設置状況は。

A 中学校は西中学校に設置。小学校は令和5年度開設の南秋留小学校が1校目。

Q 対象となる児童は。

A 知的障害を伴わない自閉症又はそれに類する障害や心理的要因により、友達と一緒にの生活や行動が苦手な児童が対象。

Q 児童に対する指導体制と指導内容は。

A 児童8名当たり1名の正規教員と会計年度任用職員の介助員が指導にあたる。基本的に当該学年の授業を行い、自閉症・情緒障害の特性に応じた、対人関係の形成や生活に必要なルールなど心理的安定や集団参加に関する学習も行う。

Q 市民への周知の方法は。

A 小学校や保育園・幼稚園の保護者へのリーフレット配布や就学相談説明会で学級に関する説明や相談を行う。

Q 他に主要地方道第7号杉並あきる野線の安全施設事業の進捗について質問した。

A 他に主要地方道第7号杉並あきる野線の安全施設事業の進捗について質問した。

Q 他に主要地方道第7号杉並あきる野線の安全施設事業の進捗について質問した。

A 他に主要地方道第7号杉並あきる野線の安全施設事業の進捗について質問した。

Q 他に主要地方道第7号杉並あきる野線の安全施設事業の進捗について質問した。

A 他に主要地方道第7号杉並あきる野線の安全施設事業の進捗について質問した。

Q 他に主要地方道第7号杉並あきる野線の安全施設事業の進捗について質問した。



霞野地区における土地開発計画について



よし子 幸 (くさぎ)



Q 市では、民間事業者が提案した開発計画を速やかに進める方針だが、霞野地区については市街化区域編入後、住宅系整備という上位計画があり、適合しないのでは。

A 上位計画への適合が求められるので、都市計画マスタープランの改定を検討中。

Q 建物の種類や用途について、制限の定めがないので、あらゆる工場が誘致できることになるのでは。

A 様々な工場系の事業を誘致することが可能である。

Q 容積率150%、建ぺい率60%としている根拠は。

A 他にシルバーピア事業について質問した。

A 他にシルバーピア事業について質問した。

子どもの医療費無料化の拡充について



原田ひろこ (公明党)



Q 東京都は医療費助成の対象を高校3年生まで拡充する方針を発表した。乳幼児医療費助成及び義務教育就学児医療費助成の現状は。

A 乳幼児医療費助成及び義務教育就学児医療費助成は、それぞれ都の医療費助成制度を利用。乳幼児医療費助成は、市独自に所得制限を超える方も助成の対象。

Q 高校3年生まで拡充する場合の対象者数と市の費用負担は。

A 16歳から18歳は2275人。推計では、市の負担割合2分の1として約2500万円。令和5年度からの3年間は都が全額を負担すると

Q 情報提供があった。

A 他に子宮頸がんの予防、带状疱疹ワクチン接種について質問した。

Q 他に子宮頸がんの予防、带状疱疹ワクチン接種について質問した。



令和4年度 施政方針について



浦野 治光
(自民党志清会)



施政方針に掲げる基本政策の特徴と課題について伺う。

Q 新型コロナウイルス感染症対策は、最も重要な課題であるが、それ以外の課題では、市長は何か最も重要だと捉えているのか。

A 重要な課題は、高齢化と少子化であるので、特に力を入れて市政を進めていきたい。

Q 高齢化と少子化を重要課題としているが、施政方針では、どの施策につなげているのか。

A 介護予防サービス及び介護人材の育成並びに子どもの居場所づくりの施策である。

Q 市長が思い描く理想的な施政方針のあり方とは、どのようなものか。

A 施政方針に掲げた施策がその年度で計画どおりに実施できれば、一番良い理想形である。

Q 今回の施政方針には、市長のまちづくりへの思いや市民へのメッセージがないが、なぜか。

A 中期的な考え方で言うと、所信表明で述べた少子化や高齢化などの5つの課題を各年度に施策として盛り込んでいっているので、その中に市民への希望的な話というのを感じ取ってもらいたい。

他に瀬戸岡霞野地区の地区計画、職員の人材育成について質問した。



18歳までの医療費助成 について



松本 ゆき子
(共産党)



Q 東京都は、2023年度から子ども医療費助成の対象を18歳まで拡大する方針を発表した。2022年度予算案で、システム改修費約7億円を計上し、2023年度の助成開始に向け市区町村と具体的な協議を行い、まともれば、2023年4月から助成を開始するとしている。実現に向けた協議を望むが、見解を伺う。

A 都では、都の負担割合、所得制限、本人の一部負担等について、今後、市区町村と意見交換をして整理していくとしている。また、基本的な枠組みは義務教育就学児の医療費助成と同様とすること、令和5年度から3年間は都が全額負担するとの情報提供があった。これまでの医療費助成への取組状況などを踏まえ、意見交換をしていきたい。

Q 都が全額負担をする3年間は、市区町村の半額負担になる可能性が高いのか。

A 都が示す基本的な枠組みでは、市の負担額は2分の1。今後、意見交換をして整理していくことで、現時点において、開始から3年後の負担割合について、答えることは難しい。

他に学習障害支援、ヤングケアラー支援について質問した。



妊産婦のサポート体制について



大久保 昌代
(公明党)



Q 安心して産み育てられるよう更なるサービスの拡充を望む声も聞かれる。るのキッズ予防接種情報提供サービスの登録者数の推移は。

A 平成29年度は461人だったが、令和3年度は1657人であり、毎年度増加している。

Q 母子健康手帳は一生の宝物なので、今風の表紙デザインにはどうかと提案したが、現在のデザインは。担当職員で協議した結果、デザインを令和2年度は馬をモチーフにしたロディ、令和3年度はポケモンの絵



柄に選定した。

Q 電子母子手帳の導入について本市の考えは。

A 電子母子手帳は記録のグラフ化などメリットが大きい。

Q 国は、来年度に母子手帳等のあり方に関する検討会を立ち上げる方針。市としては、国の状況を注視しながら、導入の必要性について検討したい。

Q 産後ケアの通所型で時間延長ができないか。今後、助産院と協議をする中で、時間延長の可能性について検討していく。

他に生理の貧困対策、ヤングケアラー支援について質問した。

介護事業について



ひはら 省吾
(自民党志清会)



Q 第8期あきる野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画では、全国的な問題となっている介護人材不足についても市の財源を有効に投じることで確保・定着・育成の取組を推進するとしている。市のこれまでの取組及び今後の課題は。

A あきる野市保健福祉基金等を財源として、介護事業者や介護職員に対する3つの補助事業を実施している。課題は、外国人介護人材受入支援事業と新規卒業者等介護従事者定着事業の2つの補助事業に申請がないことであり、今後活用しやすい事業となるよう検討していく。

Q 今後、特養及び老健に対する調査や、介護保険推進委員会及び介護事業者の意見を聴きながら、検討していくとのことだが、具体的な展望は。

A 介護保険推進委員会でも、介護人材の確保・定着・育成に向けた取組については、重点項目としている。今後も、補助制度の在り方について、意見等を伺いながら、継続的に検討していく。

他に健康づくりや生きがいづくりの充実について質問した。



秋川流域病児・病後児保育室 ぬくもりについて



天野 正昭
(自民党志清会)



病気になってしまった子どもがいるのに、どうしても仕事に行かなければならぬ親が、最後に頼れる施設として、「ぬくもり」が設立されて4年が経過しようとしている。

AQ これまでの利用状況等は。延べ人数では、平成30年度は427人、市民は314人。令和元年度は487人、市民は363人。令和2年度は119人、市民は103人。令和3年度は1月末現在184人、市民は159人。利用は3歳以下の子どもが多く、症状は上気道炎が6割を超え、ほかには

感染性胃腸炎や気管支炎など。他に本市の情報システムの問題点、令和4年度施政方針について質問した。



ど。

Q 規模の拡大や利用のしやすさ、また「ぬくもり」の存在意義等、将来に向けて進むべき方向は。

A 病児・病後児保育は、子どもが病気でも仕事が休めない場合に利用することで、子育てと就労の両立が可能になり、保護者の安心につながる。今後も、基本的な手続き等を確実にを行い、病中等の子どもを安全に預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援する。

他に本市の情報システムの問題点、令和4年度施政方針について質問した。

学校の働き方改革を踏まえた 部活動改革について



中村 一広
(自民党志清会)

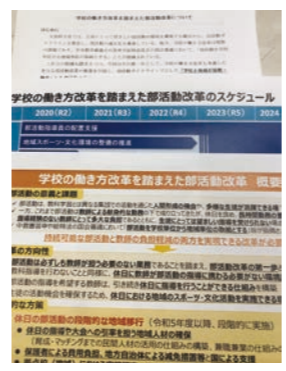


Q 現在、部活動の顧問になっている教師に対して、アンケート調査等を実施してほしいと提案したが、実施したのか。

A 今年度は、アンケートの実施にまでは至っていないが、今後、検討委員会等においてアンケートの内容についても検討し、教員や学校への負担が少ない方法でアンケートを実施する方向で調整をしている。

Q 先頭に立って、課題を解決していくのが教育委員会の果たすべき役割だと思うがいかがか。

A 検討委員会を立ち上げ、全6校の中学校の部活動の地域移行に向けて、学校や社会教育団体等の各種団体等との調整を図っていく。



施政方針・ 教育方針について



白井 建
(自民党志清会)



Q 防犯カメラはこれまで通学路等への設置をしてきた。今後は、子どもたちが帰宅後、塾や公園などへ向かう経路等への設置を進めては。

A 防犯カメラは犯罪の抑止等に大きな効果がある。都の新たな補助事業を踏まえ、関係部署と防犯カメラの増設について検討したい。

できるよう、支援のあり方について検討していきたい。

Q 集合型の子どもの学習・生活支援事業は現在3箇所です。居場所機能をもつ同事業の実施場所は、子どもたちが徒歩や自転車通える距離にあるべき。中学校区に1つの6箇所へ拡充してもらいたい。いかがか。

A 今後、子どもたちが保護者の送迎によらず、自分で通うことができるよう、実施会場を確保し、事業の拡充を図っていきたい。

投票機会の 確保について



関口 えり子
(共産党)



Q 投票所まで行くことが困難という声が聞かれる。ワゴン車を利用した移動期日前投票所を導入した自治体もある。本市の見解は。

A 移動期日前投票所の導入については、投票環境等の向上につながるため、ネットワークの整備やセキュリティー対策、導入・運営経費、対象地域の範囲の設定など考慮すべき課題を整理するとともに、他の自治体の取組について情報収集を行っていききたい。

Q 移動期日前投票所以外の方法で投票移動支援を行った自治体はあるのか。

A 国立市において、平成31年の市議会議員選挙で実施している。投票所への距離も遠く、標高差もあり、移動が困難な4つの投票区を対象とし、民間事業者から借り上げた車両で移動支援を実施している。

Q 昨年の衆議院議員選挙で移動期日前投票所を導入した自治体数と投票者数は。



その他、補聴器購入助成制度の導入について質問した。

A 「雨間ほっと」の活動は、地域ぐるみの支え合い事業の先駆者であり、他の地域のモデルとして高く評価。市としても、この活動を市内に広めていきたい。今後も「雨間ほっと」が活動を継続



教育について



中村のりひと
(明るい未来)



Q 学校教育基本計画(第3次計画)の素案で、コミュニティ・スクールの導入は2026年度に16校が目標となっているが、目標に向けたスケジュールは。

A 教育委員会での検討から始め、学校との協議を通して、ロードマップを作成する。

Q 子どもと教員それぞれにとってのメリットは。

A 地域と学校をつなぐコーディネートが、学校からの要請に応じ、地域人材等をコーディネートするなど、地域は、学校とともに、子どもたちの教育の充実を図るという仕組み。教員は、地

域人材を活用した教育活動が充実し、調整のための時間などを子どもと関わる時間に充てられる。子どもは、教育活動が充実することや、教員以外の大人との関わりが増えるので、多様な視点から子どものよさが認められ、自己肯定感を高めることにもつながる。

他に出産・子育てについて質問した。

新型コロナウイルスの影響を受けている観光産業について



合川 哲夫
(明るい未来)



Q 個人の観光業者へのコロナの影響は。

A 観光事業者等へのアンケート調査では、約3割が営業を自粛し、約半数の施設で利用者数が減少している。

新型コロナウイルス感染者が破竹の勢いで増加している。まん延防止等重点措置を適用し、感染防止対策を進めている中、観光にかかわる業者も大きな損失を受けているのではと心配している。

Q 秋川溪谷瀬音の湯及び戸倉しるやまテラスについて、

Q アフターコロナを見据えた対策は。

A 観光関連団体等との情報共有と観光PR活動に取り組みしており、また、マイクロツーリズムに着目した誘客や観光消費の拡大につながる仕組みづくりを考えている。

A コロナ前と比較して利用者数と売り上げの状況は。

コロナ禍前の平成30年と令和3年のそれぞれ1年間を比較すると、秋川溪谷瀬音の湯の温泉などの各部門全体では、平成30年に約41万人の利用者に対し、令和3年は約28万人と、13万人の減少で、売上げは、約1億2千万円の減少である。

他に観光につながるアクセス道路、網代橋の復旧について質問した。



郷土の恵みの森構想に 関係する市有地について



清水 晃
(明るい未来)



Q 郷土の恵みの森構想に関する市有地は、市内6箇所20万1675・36㎡あるが、立木の樹種であるスギ、ヒノキ、その他の針葉樹及び広葉樹の面積割合は。

A 明確に示せる資料はないが、森林レンジャーあきる野からの情報などを推計すると、おおむねスギが1割、ヒノキが3割、広葉樹が6割。その他の針葉樹は、モミヤアカマツなどが自生している。

Q 今後施行する宅地造成及び特定盛土等規制法に該当するののか。また今後の山の管理は。

A 3月1日に盛土規制法が閣議決定された。土地所有者の管理責任が明記されるということなので、市有地である大沢の盛土に関しては、市で適正に管理していかなければならない。十数年前の段階では大丈夫だという結果を見ているが、定期的な、ボーリング調査の必要があると感じている。

Q 菅生字大沢1876番地2外3筆の土地に運び込まれた残土量は。

A おおよそ20万㎡と推計される。

他に、あきる野市民が目指す環境都市あきる野戦略、令和4年度施政方針について質問した。

使用済み紙おむつの 持ち帰りについて



増崎 俊宏
(公明党)



Q 市内の公立保育園では、園児の使用済み紙おむつを保護者に持ち帰らせているが、子育て家庭からは、衛生面や感染症対策、負担軽減のため、園での処分を検討してほしいとの声を聴く。市の見解を伺う。

A 令和3年に園内処理の試行を行った。その結果、園内で処理する場合の保管方法や場所、搬出などの課題を把握した。園内処理を実施する場合は、課題について検討する必要がある。

Q 市内の公立保育園では、園児の使用済み紙おむつを保護者に持ち帰らせているが、子育て家庭からは、衛生面や感染症対策、負担軽減のため、園での処分を検討してほしいとの声を聴く。市の見解を伺う。

A ため。課題としては、ごみの回収が週2回のため、保管する場所、保管中の臭い、収集場所までの運搬、ごみ袋の購入などが挙げられる。

Q これまで保護者への聞き取り調査等を実施したことは。

A 聞き取り調査やアンケート調査を実施したことはない。

Q 東京23区では、保育所で処理する対応をとっていると認識している。多摩26市の状況は。

A 公立保育所のある市が22。その内13市が保育所で回収し、9市が保護者による持ち帰りである。

Q 令和3年の園内処理の試行について、実施するに至った経緯や課題は何か。

A 経緯は、衛生面への不安があるという新聞記事を見た

他に観光、教育方針について質問した。





経営企画部長に要望書を提出

令和4年3月のダイヤ改正では、JR五日市線についても直通運転が取りやめとなることとなり、多くの不安の声が上がっています。新型コロナウイルス感染症により厳しい経営環境にあることは重々理解しておりますが、秋川流域住民の利便性向上はもとより、各市町村の持続可能な発展のためには直通運転の維持・確保は欠かせないものと考えております。全国的に人口減少、少子高齢化が進む中、秋川流域の市町村では生き残りをかけた施策の展開が求められます。その施策の柱となるのが公共交通の活性化であり、鉄道はその根幹となるものであります。このようなことから、JR八高線の輸送体系の見直しに伴う、JR五日市線の直通運転の取りやめについては、再度検討して下さるよう強く要望いたします。

要望書(抜粋)

JR五日市線改善促進協議会(あきる野市、日の出町、檜原村の議長及び議員で構成)は、令和4年1月24日に、中嶋博幸会長(あきる野市議会議長)、小玉正義副会長(日の出町議会議長)、山崎源重監事(檜原村議会議長)の3名で東日本旅客鉄道株式会社八王子支社を訪れ、JR五日市線に関する要望書を提出し、JR五日市線の直通運転の取りやめについて、再度検討するよう強く要望しました。

No.1

JR五日市線改善促進協議会が要望書を提出しました。

主な議案等に対する会派の賛否一覧

議案等番号	件名	議決結果	自由民主党志清会(11人) ※1	明るい未来を創る会(3人)	公明党(3人)	日本共産党あきる野市議団(3人)	くさしぎ(1人)
市長提出議案5	あきる野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	×	×
市長提出議案9	武蔵引田駅北口地区整地・道路・排水工事(債務負担行為)の請負契約の変更について	可決	○	○ (2人欠席)	○	×	×
市長提出議案26	令和4年度あきる野市一般会計予算	可決	○	○	○	○	×
陳情4-5	日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める陳情	不採択	×	○	×	○	○
陳情4-6	消費税・適格請求書等保存方式(インボイス制度)の導入中止を働きかける国への意見書提出を求める陳情書	不採択	×	○	×	○	○
陳情4-7	日米地位協定の改定を求める陳情	不採択	×	○	×	○	○

※1 議長は賛否に加わらない。

○:賛成 ×:反対

No.3

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議する声明文を発表しました。

あきる野市議会は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し強く抗議し、軍事行動を即座に停止し部隊を撤退させ、国際法を遵守し、外交による解決を図るよう強く求める声明文を3月2日に発表しました。

No.2

文書質問を行いました。

あきる野市議会基本条例第11条に基づき、市長に対し、瀬戸岡霞野地区における土地開発計画についての文書質問書を1月21日付けで送付し、1月28日に回答がありました。

質問の趣旨及び理由

圏央道日の出インターチェンジに近接する瀬戸岡霞野地区で、開発計画が持ち上がっているとの情報がある。
①市は、この開発計画をどの程度把握しているのか。また、開発計画の概要や進捗状況は。
②東京都や市のまちづくり方針等において、霞野地区の位置づけは。

回答(抜粋)

①瀬戸岡霞野地区における開発計画は、民間事業者による工場や物流施設等の誘致を図ることを目的としており、その規模は、約2.8ヘクタールとなっている。
②東京都の方針において、圏央道インターチェンジ周辺では、交通アクセス機能を生かした産業系施設などの立地が促進され、各地区の特性を生かした良好な市街地を形成するなどとしており、また、市の都市計画マスタープランでは、市街地の整備に合わせて地区計画を導入し、都市基盤の整った住宅系市街地として整備を進めるとしている。

市議会の情報発信

市議会ホームページ



市議会ホームページでは、本会議のインターネット録画配信や会議録検索のほか、議会の予定や議員の紹介、議案・議決結果、政務活動費収支報告書、視察や議員研修会の報告などの情報を掲載しています。

会議録検索システム



市議会ホームページで、平成7年9月以降の本会議、常任委員会などの各種の会議録が閲覧・検索できます。定例会議終了後、約2か月程度でデータを更新します。

※このほか、本会議の様態を好きな時間にパソコンやスマートフォン等でご覧いただくことができるインターネット録画配信や、議会開催日や議会だよりの発行日など議会情報のお知らせメールが届くメール配信、各自自治体の広報紙やニュースを閲覧することができる行政情報発信アプリ「マチイロ」を活用し、情報を発信しています。